

城下町松代に学び、城下町松代を育む



長野県 長野市

松代文化財ボランティアの会 / 長野市

1 社会資本の概要

長野市松代町は、戦国時代から活躍した真田氏が、江戸時代初めに上田地域からこの地に移された後、明治時代に入るまでの250年間、松代藩十萬石の城下町として発展してきました。長野市内指定文化財のおよそ5分の1が集中する松代は、文化財の宝庫であり、町内には真田家の居城であった松代城跡のほか、伝来した大名道具を収蔵・展示する市立

真田宝物館、江戸時代を中心とした建造物など武家文化の名残が色濃く残っており、歴史的・文化的な風情と落ち着きのある町並みを感じることができます。活動の場にもなっている真田邸、旧文武学校をはじめ、町内の建造物の多くは国史跡などに指定されています。



松代城跡



旧白井家表門



松代藩真田十萬石まつり

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

松代文化財ボランティアの会は、文化財を自ら調査研究すると共に、地域住民や訪れる人に紹介することにより「文化財と人のかけはし」となることを目的に平成11年から松代の歴史的建造物をステージに活動しています。

自発的に学び、楽しく活動する「松代流ボランティアスタイル」による、会員の個性や能力を原動力とした活動は多種多様です。その活動は、湯茶と会員お手製の梅漬けで心のこもったおもてなしを行

うAグループ、学びを基礎に自らの言葉でガイドを行うBグループ、史跡や古文書の調査を行い、松代の魅力を研究し続けるCグループ、箏演奏や茶づくりなど往時の暮らしぶりを感じる体験を提供するDグループの4つからなり、会員の特技を活かした活動と新たな発見により、子供から訪日客に至るまで多くの方々に歴史豊かな城下町松代の魅力を発信し続けています。



湯茶と梅漬けのおもてなし



文化財ガイド



古文書調査



箏の演奏体験

3 活動の成果や波及効果等

平成30年度に延べ8,215人の会員により約24,000人をご案内したボランティアガイドは、その質の高さと広さで内外から好評を得ています。

また、歴史的建造物をステージとした20年に及ぶ活動は、地域における文化財の認識を「見るだけのもの」から次第に「活用しながら維持・保存するもの」へと変え、住民参加、学校教育との連携、行政による町並み整備などと相俟って、城下町松代全体に広がりを見せています。



松代小学校のクラブ活動



景観に配慮された市道の石畳

4 前回受賞時からの活動の発展内容

ボランティアの視点で作成した冊子や子ども向けイベント『真田宝物館であそぼ!』が好評を博すほか、平成31年度からはガイドの語学研修やHPの多言語化などインバウンド対応にも力を入れ、より多くの方々に魅力を伝え続けています。



「ボランティア視点」が好評の出版物



訪日客も笑顔で記念撮影

喜びの声



受賞者

松代文化財ボランティアの会
会長 徳高 雄司 / 長野市

コメント

大変名誉ある賞をいただき感謝しています。松代文化財ボランティアの会は今年で20周年を迎え、これまで394名が活動してきました。今回の受賞はオール松代でいただいた賞だと思っています。グランプリ受賞をさらなるステップに、城下町松代の豊かさを国内外に発信し続けたいと思います。

活動の内容

- ・町内文化財のガイド
- ・湯茶と自家製梅漬けによるおもてなし
- ・歴史的建造物を活かした年中行事の実施
- ・子どもや訪日客向けの箏や茶づくりなどの日本文化体験活動
- ・自発的学習に基づく調査成果の出版活動

活動の経緯

平成11年 松代文化財ボランティアの会設立
平成12年 旧白井家表門で湯茶の接待開始
平成18年 手づくり郷土賞（地域活動部門）受賞
平成28年「ボランティア通信」通算200号達成

所在地

長野県 長野市松代町

活動主体及び連絡先

松代文化財ボランティアの会 (026-278-9010)
<http://www.grn.janis.or.jp/~ma-vol/>

対象となる社会資本

城下町松代の歴史的建造物 ※管理者：長野市

